

令和2年度
(2020年度)

観光にぎわい部の取り組み

<部長の方針・考え方>

- ①新型コロナウイルス感染症で影響を受けた市内事業者への支援の実行
- ②新しい生活様式をふまえた観光施策とにぎわいづくりの推進
- ③総合文化芸術センターオープン前後における多彩なジャンルの事業展開
- ④枚方宿と東部地域の活性化に向けた具体的検討
- ⑤文化財とスポーツを活用した観光施策の検討と実践

<部の構成>

観光交流課
商工振興課
農業振興課
文化生涯学習課
文化財課
スポーツ振興課

<主な担当事務>

- (1)観光及び都市交流に関すること。
- (2)商工業に関すること。
- (3)農業に関すること。
- (4)文化及び生涯学習に関すること。
- (5)文化財に関すること。
- (6)スポーツに関すること。

具体的な取り組み：新型コロナウイルス感染症の影響を受けた市内事業者への支援

新型コロナウイルス感染症の影響を受けた市内事業者を支援するため、飲食店が販路拡大を目指して実施するデリバリーサービスを助成する「デリバリー支援事業」をはじめ、市内でテナント運営を行う事業者のうち大阪府の支援金の対象とならない事業者支援として「事業継続固定費支援金」を実施するほか、緊急融資の認定や信用保証料の補給などの資金繰り支援に取り組みます。

また、「事業者支援総合相談窓口」を設置し、国・府も含めた各種支援策の最新情報を提供するとともに、社会保険労務士・行政書士を配置し専門相談にも対応します。さらに、これからの新たな生活様式に対応した支援策の検討を進めるなど、市内事業者に対し継続した支援に取り組みます。

具体的な取り組み：ネットワーク等を活用した観光推進と「にぎわい」の復興

新型コロナウイルス感染症対策の一環として、市内の観光資源を紹介する「バーチャルツアー」動画をYouTubeの市公式ホームページへ配信するほか、テイクアウト・デリバリー紹介サイトの情報発信を5月から開始します。

また、国の観光需要喚起策である「Go To キャンペーン」を活用するとともに、文化財をはじめ、スポーツ、商工業、農業を「観光」や「にぎわい」のキーワードで連携を図り、民間企業等と共に魅力あるコンテンツを組み合わせた多彩なツーリズムの開発を進めます。加えて、友好交流都市事業の一環として、各都市の魅力ある観光資源についてVR技術を用いた動画をオンラインで情報発信するとともに、新型コロナウイルス感染症の収束後に、新たなにぎわいづくりや市の魅力向上、交流人口の増加に繋がるイベント等を速やかに開催できるよう準備を進めます。

具体的な取り組み：枚方市若手芸術家支援事業「アート・スプラウト WEB 版」の開設

新型コロナウイルス感染症の影響により、活躍の場が失われている枚方ゆかりの若手アーティストに発表の機会を提供（支援）する動画配信事業を6月から開始します。枚方市アーティストバンクの登録者から参加を募り、撮影した音楽やダンス等の実演をYouTubeの市公式ページに配信するもので、クラシック音楽から日本舞踊までさまざまなジャンルの若手芸術家を紹介します。併せて、登録者を増やし、美術工芸ジャンルのビジュアルアーツにも対象を拡げるとともに、映像・音質を向上させるなど、本格実施に取り組みます。

具体的な取り組み：枚方市総合文化芸術センターの整備とオープン前後に向けた取り組み

現在整備中の枚方市総合文化芸術センターについては、新型コロナウイルス感染症の影響で工事が一時中断しましたが、令和3年9月のオープンに向けて、整備を着実に進めていくとともに、施設の維持管理だけでなく、これまでのソフト事業をより発展・強化できる事業者を選定します。

センターは市駅周辺再整備の契機となることから、オープン前後において、魅力的で多彩なジャンルの事業を数多く展開し、市駅周辺地域全体の魅力向上や活性化を促進します。併せて、総合福祉会館との連携や社会包摂の趣旨を踏まえた事業を実施するなど、センターに携わる利用者の裾野を広げ、本市の文化芸術の拠点施設として市民に愛される施設となるよう、開館準備業務に取り組みます。

また、ネーミングライツパートナーを公募し、企業等の協力により、施設の管理運営を行います。

具体的な取り組み：枚方宿を中心とする観光施策の推進と東部地域の活性化

本市の地域資源の一つである「枚方宿」について、同地区の活性化及び観光客の誘客を図るため、淀川、枚方宿、枚方市駅周辺のそれぞれのエリアを面で捉えた施策を推進する観光施策プロジェクトチームを設置し、枚方宿地区内における観光拠点機能の整備について検討を行います。

また、北河内唯一の農業振興地域である東部地域について、貴重な農空間や里山など自然環境豊かな地域特性を生かした取り組み（活性化策）などについて、東部地域活性化プロジェクトチームを設置し、様々な観点から検討を進めるとともに、観光施策に活用できる空間の情報収集に努めます。

具体的な取り組み：農業振興の推進と市内大学と連携した都市農業の活性化

平成 30 年度より実施しているパイロット事業「ちょっと本気の野菜づくり講座」の検証結果を踏まえて、シルバー世代を中心に農業の新たな担い手を育成する効果的な事業展開を検討します。さらに、継続した農業従事に意欲ある講座修了生の受け入れ体制づくりやグループ就農の仕組みづくりを確立するとともに、農地銀行の活用や農地中間管理機構との連携等により、遊休農地の利活用につなげます。

さらなる都市農業の活性化を図るため、特産物（農産物）の創出や市内商工業者と、摂南大学農学部との連携を図り、枚方産農産物の特産化や 6 次産業化に取り組みます。

また、農業委員と農地利用最適化推進委員の任期が令和 2 年 7 月 19 日に満了となるため、新たに令和 2 年 7 月 20 日から 3 年間の任期となる候補者を枚方市農業委員等候補者評価会議にて選定します。

具体的な取り組み：起業支援のブランド化と ICT を活用した商工業の振興

これまで創業する機会の少なかった世代に向けて、創業意識を啓発する新たな取り組みを展開し、さらなる創業環境の充実とブランド化を進めるため、新型コロナウイルス感染症予防対策を確保した上で、市駅周辺の民間商業施設等と連携した新たなパイロット事業に取り組みます。併せて、パイロット事業と地域活性化支援センターの機能を連携させることで、本市の創業支援環境の充実を図ります。

また、NICT（国立情報通信研究機構）等と連携し、ICT を活用した実証実験を検討するなど、市内中小企業における課題の解決につながる支援に取り組むとともに、市内事業者への支援を継続して行います。

具体的な取り組み：歴史文化遺産の保存とさらなる活用

特別史跡百済寺跡、史跡楠葉台場跡、枚方宿など先人から伝えられてきた多様な歴史文化遺産について、記録・保存するとともに、歴史の薫り豊かなまちづくりや観光施策への活用・展開を図り、まちへの誇りと愛着を育むため、各種イベントの開催や再現イメージの効果的な伝達方策等について検討します。

「特別史跡百済寺跡」再整備工事については、東南角地の整備と公園東側の基盤整備、築地堀の復元実施設計を行うとともに、関連する由緒のある自治体との交流事業の可能性（友好交流資料館提携や物産紹介など）について協議検討を進めます。

また、枚方宿鍵屋資料館や旧田中家鋳物民俗資料館においては、新型コロナウイルス感染症予防対策を確保し、安心して見学や講座等を行うことで、幅広く市民に歴史文化を楽しんでいただく事業に取り組みます。

具体的な取り組み：スポーツ施策の推進とスポーツツーリズムの創出

スポーツの持つ力や素晴らしさが社会の活力につながるよう、生涯スポーツや健康スポーツを通じた地域の活性化を図るため、新型コロナウイルス感染症予防対策を確保した上で、枚方市スポーツ協会等と連携したスポーツ施設以外の公園や河川堤防において、健康イベントを開催するなど、スポーツの価値を再実感できる事業に取り組みます。

地域資源を活用した歴史ウォーキング・ジョギング教室等をはじめ、市内の民間事業者や観光関連団体等と連携し、新たにオリンピック種目となったスポーツの紹介やニュースポーツの研究と普及促進などに取り組みます。また、地元スポーツチーム支援の検討プロジェクトチームにおいて、地元チームのPRを強化し、市民との交流機会や関連グッズの開発等に取り組みます。

野外活動センターについては、東部地域活性化プロジェクトチームと連携し、市内外から多くの利用者呼び込むなど、教育キャンプ場から観光宿泊施設への見直しと活性化に取り組みます。

具体的な取り組み：防災協力農地制度の構築とため池ハザードマップの作成

都市部の農地は空地として火災の延焼防止や一時避難場所、災害後の資材置場等として活用できることから、防災協力農地制度を構築し、当該農地の設定・周知を行います。

ため池については、台風等による堤防決壊に伴う水害等が想定されることから、適切な管理推進と防災意識の向上のため、「ため池管理マニュアル」や「ため池ハザードマップ」を作成します。また、枚方版「ため池管理マニュアル」を作成するとともに、防災重点ため池16箇所について「ため池ハザードマップ」を作成し、管理者や市民に周知を図ります。